之代であん

立川と語ろう 立川に生きよう December 2024 Écoutez Bien Vol.41 No.477

12

追悼 細江英公えくてびあん表紙全127カット掲載!

eat in Tachikawa



イタリア食堂 イル・ピアットオチアイ



「生ハムとパルミジャーノチーズのサラダ」

常連になりたいお店です

玉川上水駅周辺には、 小さいけれど美味しい味が詰まっているお店が多くあります。 イル・ピアット オチアイもその1つ。

前菜からドルチェまで、飽きることなく満足できる。それは1つひとつのお料理 が、きちんと味を主張しているから。鮮魚のカルパッチョはお魚の食感や味をう まく引き出して美味しいのなんの。自家製生地のピッツアはソースも耳も残せな い。肉料理の大山鶏は皮がパリパリ、鶏肉の旨味を包んでくれています。ドルチェ の盛り合わせ、本物のティラミスは、クリームで延ばさないマスカルポーネが最 高です。掲載しきれませんでしたが、リゾットも美味しいんです。



自家製生地のピッツア、この日は王道 「マルゲリータ」



前菜から「鮮魚のカルパッチョ」この日はレンコ鯛でした



ドルチェは「ケーキ3種とジェラートの盛り合わせ」 ジェラートの隣が本物のティラミス。マスカルポーネが口に広がります ケーキはもちろん自家製です



お肉料理から 「鳥取産大山鶏のディアブル」 自家製唐辛子でピリ辛に。

イル・ピアット オチアイ 立川市柏町4-63-8

TEL 042-537-7374 営業時間 11:00~15:00 17:00~22:00

定休日 月曜日

ニューカレドニアとの国際交流30年

ただの「ボランティアおばさん」では終わらない

子どもたちのために活動してきた日々

- ニューカレドニアの暴動を受けて
- 一息入れて、新たな再出発を目指す

――たくさんのお役をここで全部お辞めに なったとうかがいましたが、ニューカレドニア の代表も降りられたのですか。

津田 いえ、ここだけを残して他の全部を降 りたということです。

---PTAとか子連とか、お子さんに関わる お役をいくつもされて、偉い!のひと言しかあ りません。

津田 娘が三人いますと、必然的に何か役が 回ってきてしまうんです。保育園の役から始ま り、小学校を3回やって、中学校も3回やって。 全部私がやりたいと言って役を引き受けたわ けではなくて、くじ引きで当たった人が「私や りません」ってポイッてくじを捨ててしまったり すると、じゃあ、もうしょうがないから私やり ます、になってしまうんです。

―― 先日の七番組のお祭りの時もお正月の凧 揚げ大会の時も、ちゃんと参加されて子ども たちと一緒に、暑い中御神輿の後を歩いたり、 寒い中凧揚げのイベントに参加したり。

津田 人がいないって言われたら、ハイって 手を挙げてしまうんですね。

ボランティアなんですよね。

津田 そうですよ~。

----お仕事もされているんですよね。

津田 はい。学童保育所の指導員を24年間 続けています。保護者としてボランティアの 役員をやり、仕事としては立川市の会計年度 任用職員です。娘たちからは「お母さんって お金にならない仕事ばっかりしてるよねしと言 われています。

---NPO立川ニューカレドニア交流支援ネッ トワークもお金にはならないと思うのですが、 今年30周年を迎えられるそうですね。

津田 はい。娘が立川四中に通っていて、 ニューカレドニアからの交換留学生のホスト

ファミリーになったことで、この団体に関わる ようになりました。約10年前に会計に携わる ようになり、副会長を務めて、故山田美枝代 表の意志を引き継いで代表をお引き受けしま した。設立30周年を迎えるまでに、立川市 内の中学生とニューカレの中学生が、合わせ て数百人、短期留学を経験しています。当初 は立川四中の生徒だけだったのですが、現 在は立川市内全中学校に対象が広がり、立 川市や立川市教育委員会からも支援を頂くよ うになりました。

――山田美枝さんにはえくてびあんでもイン タビューさせて頂いたことがあります。山田さ んが亡くなられた時にすんなりNPOの活動の 継続は決まったのですか。

津田 いえいえ。今後どうするかということ を話し合いました。そして初代代表の豊泉喜 一さんが、この機会に止めるべきだろうとおっ しゃいました。なぜかというと、やはり交換 留学というのはとても責任を伴うことだから です。子どもたちを海外に連れていくわけで すから。元柏小学校の校長先生でいらした 菊田澤先生も「ニューカレドニアに行く度毎回 ヒヤヒヤしていた、何事もなく無事に帰ってこ られるようにとそればかり考えて不安だった」 とおっしゃったんです。確かにそうだなあとそ

の時は私も思いまし た。でも、本当に これで閉じてしまっ ていいのだろうか、 山田代表がここま で作り上げてきたこ とを止めちゃいけな いんじゃないかと使 命感みたいなもの に駆られたんです。

――山田代表が亡くなられたとき、この活動 は何年くらい経っていたのですか。

津田 24年ですね。山田代表は、「中学生 は経験したことをすぐに吸収する年齢」だと おっしゃり、留学の重要性を伝えていました。 中学生という年齢は、生きづらさを感じやす い時期です。そんな多感な子どもたちに、早 い段階で広い世界を知る機会を提供し、そ の後のそれぞれの進路や人生を考える手助 けをしたいという山田代表の意志を継いで行 きたいと思ったのです。初めて引率した留学 中の約10日間に、子どもたちが大きく変化し ていくのを目の当たりにして、本当に感動しま

――素晴らしいと思います。でも津田さんお 一人ではできないことで。

津田 スタッフとして活動しているのは私を 含めて8人で、それ以外にも積極的にお手 伝いしますと手を挙げてくれる方がいるので、 その方たちを実行委員として活動して頂いて います。ホストファミリーの協力をして下さる 方々もいらっしゃいますしね。

----えくてびあんではニューカレドニアのボー ドゥ中学の先生でいらしたデルリュー敦子さ んにもインタビューしたことがありました。帰 国される時には鯉のぼりをプレゼントしまし

> た。太鼓演奏の 方もニューカレに 行きましたね。

津田 そうなんで す。太鼓をプレゼ ントしてくれたん です。ニューカレ で太鼓の演奏がさ かんになっていき ました。

――こうした民間の交流が活発に行われてい たのに、この度ニューカレドニアで暴動が起 きてしまって。

津田 そうなんですよ。本来なら7月31日に は現地に向かっていたはずなのに、ニューカ レのロール先生から電話があって、実は大変 なことになっていると言われて。対処方法を 探ったのですが、道路が封鎖されていて、ヌ メアという中心地にある学校まで、ロール先 生自身が船で海を渡って通っていると聞かさ れました。ですから先生、とても疲れている んです。週のほとんどを学校近くで寝泊まり し、週末だけ家に帰るという状況で。

――天国に一番近い島と言われるくらい平和 で美しい所でしたのにね。

津田 私自身、ニューカレドニアがとても好き で、家で洗濯を干している時とかでも、ちょっ とニューカレのことを思うとワクワクして行き たーいって思うんです(笑)。ですから、出発 を前に暴動が起きて行かれなくなった時はも のすごく落ち込みました。本当だったらあの 青い空、海に行けていたのにって。余談です けど、初めて引率でニューカレに行ったとき、 帰国して山田代表から「どうでした?」と聞か れて、私、「海がきれいでした」って答えて呆 れられたんです(笑)。もう少し引率者として 気の利いたこと言わなければいけなかったの かもしれませんが、本当に海がきれいだった んです。私、大学でアクアダイビングをやって いたので、余計にそう思ったんですよね。

――いいじゃないですか、本当のことだった のですから(笑)。

津田 なんとかしてニューカレに行けないか と今回もいろいろ探ってはみたのですが、な にしろ外務省で渡航中止にしていますし、 ニューカレドニアへの直行便が無くなってし

まったんです。困難なことっ て、何かやっていこうとい う時には出てくるものです よね。30年で止めることに なっちゃうのかなと思ったり もしたのですが、今、柏小 学校の6年生対象市民科の 授業で国際交流をやってい て、そこでニューカレの子ど もたちとオンラインの国際交 流をやってみようということ になって。コロナの時期に も柏小学校でやってみましょ うとおっしゃってくださって 2021年、2022年、そして昨 年は1回オンラインで顔合わ せをしてから10月にニューカ レから子どもたちが実際に 立川を訪れました。でも今 年は、まだ暴動が収まって いないので、オンラインだけ。

津田久美子さん

市上砂川小学校運営協議会委員。

NPO立川ニューカレドニア交流支援ネットワーク代表。東京都出身。5歳からはずっと立川で暮らしている。都立昭

和高校から東京女子体育大学へ進み、立川市立立川第六中学校で保健体育の非常勤講師を務めた後、立川市内の 学童保育所で25年間指導員として勤務している。ご家庭では3女の母で、すでにお孫さんもいる若きおばあちゃん。

立川市立柏保育園保護者会会長を皮切りに、立川市立柏小学校PTA会長、同小学校評議員、柏子連会長、青少健 柏町地区副委員長、こぶし会館管理運営委員会委員などのボランティアを全うし、現在は、NPO立川ニューカレドニ ア交流支援ネットワーク代表、六番組自治会秋祭り実行委員、立川市立立川第四中学校運営協議会副委員長、立川

一残念ですよね。

津田 でも、このことを通して子どもたちも いろいろなことを学べると思うんです。今、 日本ってやっぱり平和なんだと、一歩外に出 るといろいろな所で戦争が起きていたり、暴 動があったり、侵略されるかもしれなかった り。ニューカレドニアはニッケルの採掘で、日 本からの移民があり、2世、3世がたくさんい る親日の国です。そういった歴史も含めて勉 強しなおすことができますよね。子どもたち、 オンラインの前に本当によく下調べをしてい ました。今のこのピンチをチャンスととらえ、 経済的に留学を断念せざるを得ない中学生 を援助できるようなシステムを作りたい、立 川市とニューカレドニアをつなぐかけはしとな

りたいと、そんな野望を抱いています(笑)。 ――ニューカレ大好きな津田さんご本人は、 大丈夫ですか?

津田 そうなんですよ。私、ニューカレが命、 みたいな所があったんです。それに人のこと ばかり考えて。娘たちからは「ボランティアお ばさん」と呼ばれています。いい機会ですか ら、もちろんニューカレのことも、例えば直 行便が復活するように署名活動するとかね、 そういうことをしながら、少し自分のために 時間を使おうかなと思っているんです。今ま でしてこなかったこと、コンサートに行ったり、 お食事したり。思い切って「プリティウーマン」 を観にいったし、「ママ☆ホリ」も。

――素敵な未来が待っていそうですね!



2023年よいとまつりで ニューカレドニアからの交換留学生たち

2 Écoutez Bien December 2024 No.477



追悼写真家·細江英公

「心のふるさと」立川で、市民とふれあった11年



川越道緑地古民家園で

1990年8月号から2010年7月号まで 休刊もあり合併号もありましたが、 常ににこやかにお付き合いくださった細江先生に、 えくてびあんはただただ感謝です

細江英公 プロフィール

1933年3月18日 山形県米沢市生まれ。

1951年 「富士フォトコンテスト」学生の部で『ポーディちゃん』が最高賞を受賞。

1960年 個展「おとこと女」で日本写真批評家協会新人賞を受賞。

1963年 三島由紀夫を撮った写真集『薔薇刑』で日本写真批評家協会作家賞を

1970年 舞踏家 土方巽を撮った『鎌鼬』で芸術選奨文部大臣賞を受賞。

1975年 東京写真大学短期大学部教授に就任。

1981年 日本写真家協会副会長となる。

1994年 東京工芸大学芸術学部教授に就任。

1995年 清里フォトアートミュージアム初代館長に就任。

1998年 東京工芸大学芸術学部及び大学院芸術学研究科修士課程教授に就任。

2000年 写真集『細江英公の写真絵本 [妖精物語]ルナ・ロッサ」を発表。 2003年 世界を代表する写真家7人のひとりとして、英王立写真協会創立150

2006年 写真界の世界的業績を顕彰するルーシー賞の「先見的業績部門」を日 本人として初受賞。

2007年 旭日小授章を受賞。同年、核兵器とその脅威をテーマにした『死の灰』 を発表。

2009年 『鎌鼬 新装普及版』を出版。同年、ルッカ・デジタル・フォトフェスティ バルの2009年マスター・フォトグラファーに選ばれ、代表作を写真絵巻・屏風・

2010年 ニューヨークにてナショナル・アーツクラブより、日本人として初めて第 18回写真部門生涯業績金賞を受賞。同年、文化功労者顕彰。

2017年 旭日重光章受章。

2024年9月16日 逝去。享年91歳。

文化功労者顕彰



文化功労者顕彰で皇居に向かわれる朝 ご自宅前で、奥様とご長男 賢治さんと



2011年2月25日 文化功労者顕彰を祝う会にて







長が細江英公先生です。国内外の様々



ベスト立川人・展にて

1990年から細江先生に月刊えくてびあんの表紙を撮影していただきま したが、表紙にしただけではもったいない。かねてより1年に1度、えく てびあんではご登場頂いた「立川人」を広く街にご紹介する意味で「ベス ト立川人・展」を開催しておりましたが、そこで「表紙の人・展」を1992 年より同時開催。アイムギャラリーに細江先生も足を運んでくださり、そ こで出会った立川人と親しく歓談されていました。世界のHOSOEです が、本当に気さくに誰とでも語ってくださる素敵な方でした。





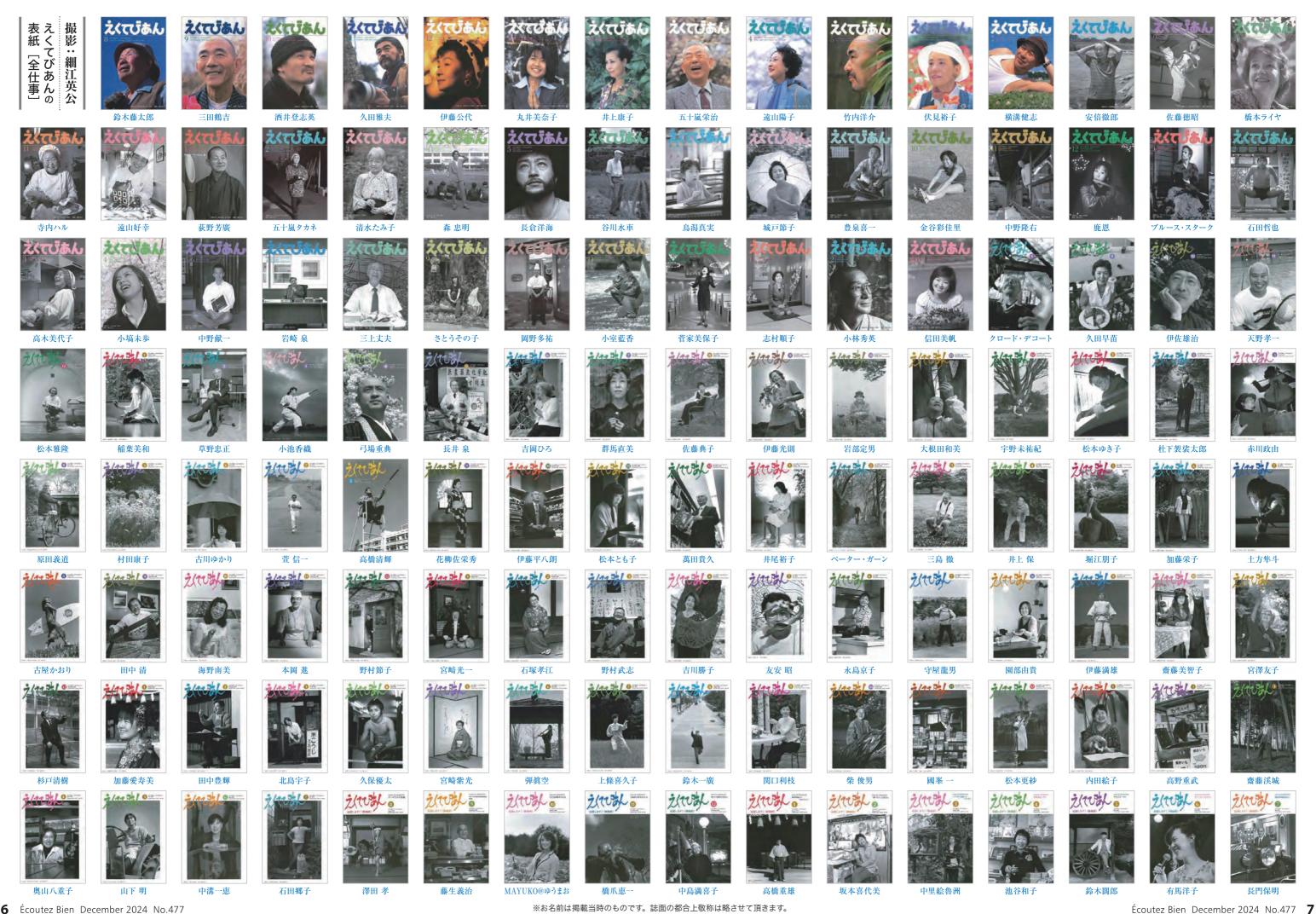








4 Écoutez Bien December 2024 No.477 Écoutez Bien December 2024 No.477 5



立川のみなさんとのふれあい (えくてびあんパーティー・その他で)



2008年まで続いた「え くてびあんパーティー」。え くてびあんにご登場頂いた 方々をお招きして和やかに。 その目玉はなんと言って も、細江先生撮影の『表紙 の人』でした。























えくてびあんと



細江先生と初代編集長 山田五郎 (中央)





細江先生と 二代目編集長 芳賀敏博 (中央)

細江先生が表紙の撮影をしてくださった初回から、レフ板をもってライティングを 担当してきたのがえくてびあんの大久保です。細江先生直伝のライティング、そう名 刺に書いてもいいとまでおっしゃっていただきました。ありがたいお言葉です。また 立川生まれ立川育ちの大久保が立川の道をよく知っていると喜んでくださり、運転の 名手ともお褒めをいただきました。先生と最も長く深く仕事をさせていただいた大久 保より、追悼のメッセージを送ります。

追悼文

細江英公先生

2024年9月19日。細江英公先生ご葬儀の日。

実に13年ぶりにお会いした細江先生のお顔は、えくてびあんの表紙の 撮影でご一緒させていただいたあの頃となにもかわらず、穏やかな表情 でほほ笑まれているように見えました。

撮影現場の細江先生は、気さくに会話をされながら、和やかな空気 をつくりつつも、ひとたび撮影がはじまれば、キリっとした緊張感の中 で撮影が進められたこと、懐かしく思い出されます。

忘れられない撮影中の出来事の中で、今も宝物として覚えていること

撮影は、細江先生。助手でご子息の賢治さん。編集長と私の4人。 賢治さんはカメラのセッティングからフィルムの交換など、先生がシャッ ターを押すだけで良い状態をつくり、編集長はモデルさんの目線の先に 立ちながら、撮影の合間を会話で繋ぐ。私はレフ板をもち、モデルさん に光を当てる役割をいただいておりました。

ある日の屋内撮影の際、光が当てられず、撮影が進まない状況が申 し訳なく、なかなか難しいですねと先生に申し上げると、だからあなた に頼んでいるんだよ!と言葉をかけてもらったことで、ただ一心に頑張る

「ライト10年、10番目 の弟子」と呼んだ 大久保清志



ことの大切さを諭 されたことを思い 出します。

ある日は夕方、外灯の光だけのうす暗い住宅街での撮影では、レフ 板はおろかストロボも使えない状況のなかで、先生は私に、車のヘッド ライトを当てるようにと言われ、その奇想天外な発想力に、固定観念で 捉えない無限の可能性を教わりました。

またある日は、写真を趣味にされている数人のグループの方が、撮影 現場近くを通りかかり、良い写真撮れましたか?と細江先生に声をかけ られると、撮れましたよ~と、ニコニコしながら答えられる先生。その 柔和なお姿から世界的な先生と一緒にお仕事をさせていただける、貴重 な時間を噛み締めることができました。

11年間で、延べ127名の立川の方々の撮影。本当にありがとうござい

最初から最後までご一緒させていただけたことで、学ばせていただい た細江スピリットを胸に、これからも日々邁進いたします。

大久保清志

「えくてびあん」ありがとう! 細江英公

10年前、「えくてびあん」の山田五郎編集長(当時)から「表紙を10年間撮影してもらえないか」という依頼がありました。私はすか さず「お引き受けします」とご返事をしました。「えくてびあん」は立川市民のタウン誌として知っておりました。立川は私にとって「心 のふるさと」ですから、その心のふるさとのために役に立つことができるとの思いで10年間、途中で芳賀編集長に替わりましたが、 誠心誠意、表紙撮影に取り組んで参りました。そして、お約束の10年が過ぎて11年も経ちました。

さて、こうしてお約束の10年を過ぎましたが、立川との縁が切れたわけではありません。「えくてびあん|の表紙にご登場いただい た皆様、どうも有難うございました。どうぞ、これからも「えくてびあん」をよろしくお願い申し上げます。

平成22年8月吉日 (『えくてびあん 細江英公記念号』の再録です)

8 Écoutez Bien December 2024 No.477 Écoutez Bien December 2024 No.477 **9**

えくてびあんの輪

えくてびあんはリストのお店にあります。 今月は 錦町・柴崎町・立川市外 のお店です。

	> / 310. Mhc3	>ICC-SC-3		. U.S. C. S. O.
錦町	ホ FALAIR all man All man All man All cal man All cal man All man Al	航山 Moair Moa	店 LASANTE 東京 ········· - D ········ - 房~ kuriya ~ 房~ kuriya ~ 房 ··· 力 ··· 一 時 ··· 一 ティア ······ lant シェいなに ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	521-111 -528-238 523-533 -525-744 7548-880 -524-578 526-222 524-418 525-921 -526-131 528-051 512-866 528-051 512-866 527-773 527-703
柴崎町	パスタビ 高島ビル Hair Roo 南武堂剣 ビジネス	ーノ は! m MOO 道具店・ ホテル	しや N ZETTOM 小沢屋	··521-338 · 526-011 \ 523-096 ·· 527-019 ·· 523-038

Sweeney dog 090-6017-8211

540-2675

すがの歯科

		340 2010
	あすなろクリニック	529-2756
	入船茶屋	-524-6266
	串揚割烹 トントン	524-452
	不動産 コマツホーム	·525-5811
	かみゆい処 わ	522-8202
	ホテル ほまれ	523-0588
	ヘアーサロン オオヌキ	·528-0809
	中国四川料理 山城	512-8356
	酒歩 たから	·528-1510
	リサイクル着物 着楽堂	523-9702
	天婦羅・うなぎ 良銀	522-6702
	ギャラリー きらら	
	生活雑貨 EAST END	523-9636
	特むし銘茶・海苔 菊川園…	526-2035
	ジョイフルプラザ	529-2772
	めん心 堤屋	525-6602
	hoccori* café ······	
	立川わかば整骨院	526-8518
	中華小皿料理 得得屋	528-1060
	Fashion You Me	523-1640
	石原薬局	523-4067
	サイクルハウス 輪輪館	522-8100
	(株)正盛堂	522-2328
	小林歯科クリニック	·527-8217
	ビューティーサロン ウィスタリア	527-1116
	オリオン書房 サザン店	525-3111
	西武信用金庫 立川南口支店	529-1311
立	昭島市	
Ш	ECO'S 昭島店····································	546-3710
恵	武蔵村山市	
外	TO SECURE SECURE	

jorakugajo

畜産問屋直送 元祖村山ホルモン 843-5785

561-7233

·843-9860

.534-3334

中国料理 菜

国分寺市

高倉町珈琲 武蔵村山店

パンの店 fermata

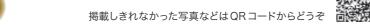
真如苑提供番組〈常楽我浄〉

スカパー!: 529ch

スカパー!で放送の常楽我浄は スマホアプリ「スカパー!番組表」(無料)で視聴できます。

J:COM 多摩: 11ch · 111ch 放送時間については番組表をご確認ください。

www.shinnyo-en.or.jp



盛大に第36回立川よいと祭り

10月13日、たくさんのイベントが重なり、サンサンロードは賑やかでした。立川よいと祭りでは踊りに音楽 太鼓におはやし、お神輿と次々に登場、最後は立川らしく暗闇に映える松明まわし。無事に今年の山を越えた 気がします。





セレモニーで挨拶をする実行委員長 萬田和正さん

立川よいと祭りの提灯もまた来年

第50回立川市民合唱祭

10月13日、たましんRISURUホールでは多くの出場合唱団の参加を得て、大ホールに美しい歌声が響いて いました。創立50周年の記念の集い、初回から参加している合唱団もあって、老いも若きも楽しい1日を過ご しました。





創立50年、諏訪の森コーラスです

第101回箱根駅伝予選会[10月19日]

暑いくらいの気候でした。不 調に倒れた選手もいた予選会 でした。ゴール後の結果発表 は、笑いあり涙ありのいつもの 光景。どの学校もこのために1 年頑張ってきているのです。学 連選抜に1人を押し出すために、 長距離が専門でない選手まで が頑張っているチームもあると 知ると、予選会といえども大事 な大会。立川の地で予選会が 開催されていること、もっと広 く知ってもらいたいですね。



日本人選手トップの吉田礼志





続々と走ってくる選手たち(立飛駅下)

立飛駅下、1位グループの走り

秋空に桜咲く

えたのでしょうか。南北道路の桜並木にチラホラ と桜の花が開花していました。桜の花のつく枝に は、しっかり緑の葉も茂っていました。温かい陽 気が続いていましたが、でも11月です。今年の 冬は平年並みとも言われていますから、咲いた桜 の花たち、寒くなるとちょっとかわいそうですね。



立川市と立飛HDの包括連携協定

飛HDの包括連携協定が締結されました。立会 人は立川商工会議所会頭の川口哲生さん。酒井 市長より最初に「私にしてみれば、なぜ今頃とい う感じがする」と言葉がありましたが、本当にな ぜ今?ですね。いろいろなことを実行に移して、 今や名実ともに立川を牽引している立飛HDと協 定を結んで、ともに立川を住みやすい街へ前進 させていくのですから、喜ばしいことです。村山 社長がいろいろなことをおっしゃっていましたが、 その部分は動画でどうぞ。



左から酒井大史市長、川口哲生立川商工会議所会頭 村山正道立飛HD代表取締役社長

「古典の日」授賞式と講演会

11月1日は「古典の日」。2012年度から国文研では、この日を古典に親しむ絶好の機会として、講演 会を行っています。また同じ日、「第17回日本古典文学学術賞」授賞式も行われました。受賞された方が 海外にいらっしゃるので授賞式はリモートでしたが、タイムラグなく式典は進みました。講演会は国文研 准教授の中西智子先生とアニメーション映画監督の片淵須直先生。片淵先生は日本大学芸術学部特任 教授・上席研究員で、『この世界の片隅に』の監督と言えばおわかりかもしれません。先生のお話から1 つの作品を作り上げるにも膨大な史料から実証的に構成した「その時代とその土地」を描く手法をとられ る、ものすごい仕事だとわからされました。現在国文研では企画展示『枕草子と春曙文庫―田中重太郎 旧蔵書資料を中心に』が開催されています。貴重な展示です、是非足をお運びください。なお、国文研 では「国文学研究資料館 賛助会」で賛助会員を募集しています。詳細は国文研 賛助会担当までお問い 合わせください。(TEL 050-5533-2910)



第17回「日本古典文学学術賞」受賞者の河村瑛子さん 京都大学大学院文学研究科 准教授 研究実績は『古俳諧研究』和泉書院



片淵須直先生 片淵先生は2021年11月から国文研のないじえる芸術共 **創ラボ参加アーティスト**

第85回 立川落語会

くさん、40年前に第2代会長だったのいう のですから、落語会の歴史は長い。毎回こ の発表会のトリについて書いていますが、今 回もすごかった。立川亭ポ蘭さん、演目は『文 七元結』。力が入っていましたねえ。中入り でお菓子も配ってくれるし、次回はみなさん も足をお運びください。面白いですよ。



表紙

立川から見えるダイヤモンド富士 (曙町)

11月に入って、ようやく初冠雪を迎えました。 雪化粧しないスッピンの富士山はらしくないと思 いますが、それでも季節は進んでダイヤモンド 富士を迎えます。逆光の中で雪は見えなくても、 強い風に雪煙があがる様子が美しい。太陽の 直径と富士山の頂上の幅が同じ長さに見える、 立川でなければ撮れないダイヤモンド富士。立 川の一番高い場所からの1枚です。風が強くて、 今日はもう撮れないかなと思った瞬間、この時 だけ雲が切れた奇跡のショットです。

かたこと

◆内外の選挙やらスポーツニュースやらテレビ もネットも忙しい毎日でした。立川も同じ日に あちらこちら、イベントが重なって、市長も大 忙し、商工会議所会頭も大忙し、メディアの 皆さんも忙しく動く日々でした。それだけ立川 が活気に溢れている、ということでしょうか◆ 取材に行かせていただいても、掲載ページが 限られている紙媒体は全部を掲載できず苦労 します。ここはネットに頼るしかありません。え くてびあんの姉妹サイト「多摩てばこネット」に は、多摩てばこでなければ拾えないニッチな情 報が満載です。また「えくてびあんnote」には 紙に掲載しきれなかった情報を載せています。 ぜひ訪ねてみてください◆11月1日、立飛グルー プさんが創業100周年を迎えられました。おめ でたいことです。日本国内にある企業で創業 100年を超える老舗企業の割合は1.2%だそう ですが、立飛グループさんも仲間入り。これか らも力強く立川を支えていって欲しいですね◆ 『MAO RINK TACHIKAWA TACHIHI』 も オープンしました。浅田真央さんは「皆さんに 温かく迎えていただいてとても嬉しい」と仰って いました。また1つ、立川にスポーツの拠点が できました。いつかスポーツハブ立川になって いくのでしょう◆こうした中にも、立川を一歩 出ると世界各地で色々なことが起きています。 悲しみも辛さも共有しながら多くの人と共に歩 める立川を目指したいです。

えくてびあんスタッフ一同

えくてびあん ©

12月号 第41巻 通巻477号

令和6年12月1日発行 発行 有限会社えくてびあん 〒190-0023 東京都立川市柴崎町 2-1-10 高島ビル 4F TEL 042-528-0082 FAX 042-528-0065 E-mail message@tamatebakonet.jp URL https://www.tamatebakonet.jp 発行人 黒須 環

企画・編集 えくてびあん編集スタッフ 写真 五來孝平·Betty

デザイン 池田隆男 (WATER DESIGN ASSOCIATES) 印刷 ダイオーミウラ株式会社・DECK C.C.

無断転載を禁じます。

あの頃の立川 創刊から40年―18

商店街の賑わい



錦町

1992年12月6日に行 われた「商店街歳末チャ リティイベント 恒例もち つき大会」の写真。上は 錦町、下は柴崎町。先 着100名にお花も配られ た。商店街の皆さんでお 餅をついて、ご婦人たち



が素手で餅をちぎり、あんこや

大根おろしでふるまわれた。コロナ以降、見られなくなった光景だが、かつては当 たり前のようにどこでもこうして楽しんだ懐かしい絵だ。よく見てみると、柴崎中央公 園の周囲にまだフェンスがない。1993年秋あたりから不法行為が多発し、1994年4 月に閉鎖され、1996年1月から鍵付きフェンスを設けて開園されるようになった、立 川でも珍しい土日は中に入れない公園。